

## 2 書籍による特活情報の提供

### 「生活ルール指導の定石」 良質な学級生活を創る

著／松永昌幸 2011 明治図書

→ 良質な学級には「やさしさ」と「ていねいさ」がある。それを織りなすための、具体的な指導の内容と方法が、分かりやすくまとめられている。良質な学級を生み出すには、何よりも「いい学級にしていきたい」という先生の熱意が必要であり、そのような熱意ある先生の背中を押してくれる本である。

### 「明るい教室環境づくり12ヶ月」(小学校) 著／松永昌幸 2007 明治図書

→ 全国どこへ行っても、同じようなつくりの教室。しかし、教室に入ると何かが違う、雰囲気が違う。それは、「子どもたち色」に染められているからである。教室の環境は子どもたちが作り出すのであるが、子どもたちが自分色を出そうとするとき、恐ろしいことに、教師の姿が、そこに反映されるのである。担任の「裸の自分」が表出する教室環境。よりよい環境を生み出すための、具体的な指導方法が分かりやすくまとめられている。

### 教育技術 MOOK「学級会早わかり」 著／今村信哉・大室健司 2010 小学館

→ 「学級会」をしっかりとやっているクラスは、いきいきとしている。自分たちの力で楽しいことをしたり、困ったことを解決したりする経験は、子どもたちを輝かせる。しかし、学級会の運営のノウハウが分からず難しく考え、学級会に取り組めない教員もいる。そんな教員のために、学級会運営のコツをコンパクトにまとめたのがこの一冊。教師が困りそうな具体的な場面を取り上げ、図や写真を交えて、分かりやすく解説されている。入門期におすすめの一冊。

### 「心理測定尺度集Ⅳ ー子どもの発達を支える〈対人関係・適応〉ー」

監修／堀 洋道 編／櫻井茂男・松井 豊 2007 サイエンス社

→ 社会心理学、臨床心理学を中心とする心理学の領域で主にこの10年間に発表された中学生以下の幼児・児童・生徒を対象とする心理尺度を精選の上多数収載されている。尺度の内容だけではなく、(1)測定概念・対象、(2)作成過程、(3)信頼性・妥当性、(4)尺度の特徴、(5)採点法、(6)出典論文・関連論文についても詳しく紹介されている。児童生徒のアンケート調査、意識調査を作成する際に参考になる。

**「学級集団づくりのゼロ段階」 著／河村茂雄 2012 図書文化社**

→ 学級経営に関する具体的指針を提示。学級集団とは何か、どのような成熟状態があるのか、学級集団の状態が児童に与える影響など、学級経営のいろはとなる、根幹的な内容がまとめられている。

**「ゆるみを突破！学級集団づくりエクササイズ 小学校」**

**編著／河村茂雄・武蔵由佳 2013 図書文化社**

→ どのように学級でのルールを確立し、学級を集団としてまとまりをもたせることができるのか、1年間を通した学級集団作りの段階を追いながら、必要な取組について取り上げている。hyper - QU でゆるみ型の学級と判定された先生におすすめ。

**「かたさを突破！学級集団づくりエクササイズ 中学校」**

**編著／河村茂雄・武蔵由佳 2013 図書文化社**

→ ルールを徹底させる中で、どのように学級でふれあいを深めることができるのか、学級全体に対する対応や個別対応のポイントについて、場面ごとに具体的に解説。hyper - QU で管理型の学級と判定された先生におすすめ。

**月刊「道徳と特別活動」 文溪堂**

→ 道徳と特別活動の実践紹介、各月の特集から幅広く多くの特活情報を手に入れることができる。特に2012年度版の文科省 杉田 洋調査官の「一年間の活動を通した学級生活づくり」の連載は、学級目標の大切さや具体的な立て方、振り返りの仕方など計画的な学級づくりについて述べられている。担任の先生にとっては、必見の価値あり。

**「初めての教育論文 -現場教師が研究論文を書くための65のポイント-**

**著／野田敏孝 2005 北大路書房**

→ 教育学のアカデミックな研究論文ではなく、現場教師が自らの実践を論文という形で世に問うていく際に、どのようなことに注意すれば、良い論文が書けるかを、文章の言葉遣いまで含めて具体的に分かりやすく示してある。65のポイントの多くが、1ページか、見開き1ページにまとめられているため、たいへん読みやすい。